（別添資料１）

事業所名　このこのアート

支援プログラム（参考様式）

作成日　2025　年　8　月　1　日

法人（事業所）理念	その人が生きていくことの糧になることを見つけ、その活力、エネルギーが削がれないようにサポートする				
支援方針	・児童の自信につなげるため、興味のあること、得意なことを見出し伸ばす『強みを見つけ、伸ばす』 ・その児童の生活環境を豊かにするために地域の社会資源を理解、把握する『社会資源の情報収集』 ・進路及び就労システムを理解し、将来への情報提供を行う『進路、就労への情報収集』 ・二次障害を理解し省く支援を行う『あらゆる環境を把握し、二次障害を省く』				
営業時間（平日）	11 時　00 分から　20 時　00 分まで		送迎実施の有無	（あり）　なし	
営業時間（学校休業日）	9 時　00 分から　18 時　00 分まで		送迎実施の有無	（あり）　なし	
	支　援　内　容				
本人支援	健康・生活	調理技術や生活リズムの習得を通じて、自立に向けた生活スキルを学ぶ。食事や健康管理、公共交通機関の利用、自己管理など日常生活に必要な能力を育成し、予期せぬ事態への対応力を養う。計画や判断力を養いながら、目標設定や進捗管理で自己成長を促進し、自立した社会参加を目指す。			
	運動・感覚	体幹や足首の安定性を高めるバランストレーニングや、粘土やパズルを使った手先の感覚トレーニングを通じて、バランス感覚や器用さを養います。また、ボール投げや障害物回避などの運動を行い、感覚の統合や身体の反応能力を向上させます。さらに、糸通しやビーズ装飾など指先を使う細かい作業を通じて、日常生活で役立つ精密な手先のスキルを習得します。			
	認知・行動	絵画や手工芸を通じて想像力や創造力を育むクリエイティブアートセッションや、パズルやボードゲームを使って論理思考やチームワークを養う活動を行います。思考力トレーニングでは課題解決や推論を通じて意思決定力を高め、クイズやトリビアで記憶力や注意力を鍛えます。さらに、ロールプレイやシミュレーションで社会的スキルや対人関係能力を向上させ、実践的な行動力を培います。			
	言語 コミュニケーション	ジェスチャーやコミュニケーションボード、PECSを活用し、非発語児童の意思や感情表現を支援します。共同作業やアートプロジェクトを通じて、児童同士の協力やコミュニケーションを促進します。また、ソーシャルストーリーや役割プレイを用いて、社会的な場面での適切な行動やスキルを学びます。さらに、障害特性に応じた読み書き支援を行い、基礎的な能力向上を目指します。			
	人間関係 社会性	チームビルディングやアウトドア活動を通じて、児童同士や職員との信頼関係や連帯感を形成します。地域団体との連携で社会貢献活動を行い、社会性を育む機会を提供します。また、対人スキルトレーニングでは、コミュニケーションや協力、リーダーシップの向上を図り、自己理解や感情コントロールの支援を通じて、自己成長を促します。			
家族支援	家族への相談や助言を通じて、児童の成長や家庭での支援をサポートします。保護者が安心して子育てできるよう情報提供や心の支えとなる支援を行う。		移行支援	移行に向けた就学先との調整、就学先との支援内容等の情報共有や支援方法の伝達、受入体制づくりへの協力や相談援助への対応等の支援、本人が次のステップに進みやすい支援を行う。	
地域支援・地域連携	地域の資源を活用し、学びやレクリエーションの場を提供します。地域イベントや教育機関と連携し、社会参加を促進。さらに、自治体や関連団体とのネットワークを構築し、本人・家族が安心して地域で暮らせる環境作りを目指す。		職員の質の向上	職員の専門知識や支援技術向上を目的とした研修を実施し、最新の支援方法や情報を共有します。定期的な振り返りやフィードバックを通じて、より質の高い支援を提供できる職員の育成を支援する。	
主な行事等	・クッキング・外部講師のお楽しみ学習・収穫体験・外出（買い物学習　電車の乗り方など）・ピッツァ教室・外食・地域交流（近くの放デイと合同行事） ・縁日・クリスマス会・BBQ・音楽イベント参加・地域店舗への作品出店				